

週 報

1988年10月23日 降誕前第9主日

卷 9 30号

1988年度教会主題

「真理の御言に聴き、従う」

あなたの御言は真理であります。あなたがわたしを世につかわされたように、わたしも彼らを世につかわしました。また彼らが真理によって聖別されるように、彼らのためわたし自身を聖別いたします。

ヨハネによる福音書17章17節b-19節

日本キリスト教団 **横浜港南台教会**

会 堂 〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

☎ 045-833-5323

振替 横浜 9-13394

牧師宅 〒235 横浜市磯子区洋光台 5丁目-6-3-304

☎ 045-833-6616

牧師 秋 吉 隆 雄

—牧師室から—

キリスト教信仰は、十字架で死んだイエス・キリストは復活したという証言から始まった。弟子たちは「復活の証人」として立ち上がって、教会を形成した。その信仰の基礎になる復活証言は、復活したイエス・キリストに最初に出会ったマグダラのマリヤを始めとする女性たちが、まず担った。ところが、当時は女性には人権がなく、証言能力が認められていなかった。証言能力のない彼女たちから始まったキリストの福音は、そのまま時代の価値観をひっくり返す出来事であった。ルカ福音書の著者ルカは、神の子イエスを懐妊したマリヤに、キリスト降誕の意味を「権力ある者を王座から引きおろし、卑しい者を引き上げ、飢えている者を良いもので飽かせ、富んでいる者を空腹のまま帰らせなさいます。」と歌わせている。イエス・キリストはローマの政治的権力とエルサレムの宗教的権威に激しく抗し、抑圧された貧しい

ただの人々を愛し貴かれ、生きることの尊厳を保証された。キリストの福音は、まさに時代の価値、常識を逆転し、新しい人間の生と社会を実現する命であった。

評論家の加藤周一氏は、新聞でブラック・ホールに飲み込まれるように、国中が天皇に一点集中する危険性を鋭く指摘している。天皇の病気に関する仰々しい報道、在民主権を放棄したような自粛ムードは、事柄が見えなくし、かつてのような殺し、殺される状況に流されかねない。

聖書は、義なる神の視点から人間は神を否定し、隣人を自分のためだけに利用する「罪人」であるという。その罪人が作り出す社会を無批判に受け入れると、罪を是認し、自らも罪の中に飲み込まれてしまう。人間否定の悪しき価値観が常識化する。これらをひっくり返して、互いの人権を尊重し生活を分かち合って「共に生きる」ことが、キリストの復活という命の福音に与かることである。